

立して社會に活動するやうになつてから豪くなれば可いのであるから幼少時代には唯その英氣を養つて置けばよいのである、

▲運動時間の不足 一體今の兒童には身體を練る時間が乏しい、早い話しが朝起きて食事をする直ぐ學校に行かねばならぬ又午後は二時乃至三時に歸つて少し休つて又日課の復習をせねばならぬ左右する中には日が暮つて了ふと云ふ風で殆ど運動する時間が無い、よく年寄りが今の子供は弱くて不可んと云ふが昔の人は果して頑丈であつたか否かは別として、身體を練る時間が有つた事は事實である、その一例を擧ると柔道をやるとか擊劍をやるとか或は又弓術、馬術などの稽古をやつて居たか自然身體が練られた、然るに今の兒童にはさう云ふ機會がないから何しても身體の運動に不足を感ずるのである、

▲修養と休養 修養とは常に相離る可からざるものであるが一體日常起居は何うしたら可いかと云ふに必ずしも朝は何時に起きて夜は何時に寝ると云ふやうに規律的でなくても可い、唯そ

の睡眠の時間丈は凡極めて置いた方が可い例へば前の晩は床に入るのが少し後れたと思へば翌朝は夫れに準じて少し長く寝かすと云ふやうにするのである、是は唯休養の一例に過ぎないが總ての事も之に準じて行けば可いのである。

### 保育叢話

光藤夫人

#### 一、庭園の必要

子供に取つて何が一等大切かと申しますれば、恐らく身軀の強健といふ事に異存のある人はあるまいかと存じます。其の必須なる身體の強健は如何にすれば得らるゝかと申しますれば、其の條目は色々御座いますが、毎日室の中で遊ばせないで、外氣にふれさせるといふ事も一つの大切な事かと存じます。獨逸あたりでは朝から晩まで、外で遊ばせるといふ事で御座いますが、誠に結構な事に羨しく思ひます、私共も田舎で育てられました

時は、朝から晩まで外の清い空氣にふれて運動したもので御座いますが、一體東京あたりでは其れが余程六ヶしい場合が多いに困ります。悪しき腐敗した食物を興へて、其の子供の健康を害して悔ゆる母親はありませうが、悪しき汚れた空氣を呼吸して子供の健康を害ひしを悔いて其の豫防をする人は少なくはありますまいか、どうも私の狭い経験から申しますれば、汚穢なる空氣の人身を害ふは、悪しき食物で胃腸を害ふより恐ろしき結果を來しはしまいかと存じます。私は以前東京の花と呼ぶる、日本橋の或は小學校に數年教鞭を取りました。其時尋常二年から持上りて高等小學を卒業させるまで持ち續けた事が御座いましたが、一體に身體の薄弱な事は甚しいので御座います。どの子を見ましても顔色の櫻色などの殆んどなく、皆青菜を見た様で、骨組が細う御座いました。日本固有の美女の寄集りかの様に思ひました。何の爲にこんなのかしらんとよく取調べて見ましたが、大抵は運動不足も御座りませうが、不潔な空氣が原因して居る事を確め

した。其れで子供等に、時を見ては田舎などに行き、青葉の茂れる中で運動せよとす、めました。が、中々家庭の事情がそうは許さないもので、いつも青い顔を其の儘で居りましたが、其れでも富豪の令嬢などは、別荘を田端大森などに建設して移轉し少からず健康を増したものもありましたが、卒業しました年二十人許の中で二人迄無情の風に誘はれて、望み多い身體を黄泉の客とならしめたので御座います。其の病氣が二人共呼吸器病で御座いました。之等はたしかに空氣の不潔が大きな原因をして居るのであらうと思はれます。常に新鮮な氣中に身を入れて心地のガスがしいものは、少しのバチルスなどの進撃を受けましても之を受けつけないでせうが、不潔なる空氣で、ダルイ様な半病人の様な身體に、バチルスが追つかけたら、モ一たまりもない、まるつて仕舞ふのであらうと思はれます。からしまして、どーか子供は廣い種々の木や草花の咲き亂れたる中で遊ばせたいとは、私年

來の志で御座いますが、どうも家事の都合上それが出来兼ねて居るのも遺憾に存じます。

いつぞや精華學校長の寺田様が、子供の爲の庭園にしる、風流を樂むが如きは、子を持つ親の禁物とか書かれましたの讀みましたが、實に同感で御座います。子供の破つてわるい様な植木は、余り陳列しないがよろしいと思ひます。只子供のはねたり、おどつたり、繩飛したり、ブランコをしたり、かくれん坊をするのに、都合よくする事が大切で御座います。

二、子供は母の手で愛育すべきものなる事夫婦の愛、兄弟の愛、色々ありますが恐らく、此の親子の愛ほど、純潔な物はありますまい。我が身を捨て、子供の病の平癒を祈ります母親は、昔のみではありますまい。實に其の愛の深い事は譬ふるに物が御座いませぬ。卑しきも、高きも、富めるものも、貧しいものも、皆一樣焼野の雉子夜の鶴で、子の爲めの犠牲は露厭ふ所は御座いませぬ。先日も或る車夫が人の使者として、宅に參りました、丁度宅の五歳の男兒が遊んで居りました

らば、車夫はしきりにお語をして居りました、私が玄關に出ますと、あいさつをすませました、私

は悄然と、私の子供も丁度お宅様の坊様と同年で御座いました、先日蟬取りに出掛けて石垣の大きな石が落ちて来て押しつぶされて、死にました、お坊様を見て思ひ出されまして、老の眼を曇らして居りました、ア、何たる悲惨な事であらうと、

私も身の毛がよだつように聞いて居りました、私より車夫は更に語をつぎて、私はそれでも男子です、から諦めて居りますが、家内の奴どうも何ともいへない程、心を痛めました、とア、私は皆まで聞く勇氣はありませんでした。母の愛、子に取

りて之れ程世にありがたいものがありますか、車夫は諦められても家内が諦められぬは最もア、諦められまい、諦められまい、今迄家で活潑に遊んで居たものが一寸蟬取りに出掛けて五分と経たぬ中に黄泉の客となつて來様とは、誰れとて諦められないと、幾度か同情の涙にむせびました。

子に取つて何物にも換へがたい、この貴い母の愛、母の愛は萬人一樣で、少しの變りもないといひま

した、丁度宅の五歳の男兒が遊んで居りました

すが私は私の實驗から割り出して、ドーしても我  
子に多く接する程、愛の度が強いかと存じます。  
よく里子にやられた子が里親を慕ふのも此の理で  
あらうと思はれます。

此の強い深い貴い何物にも換へがたい、母の愛、  
母の方からいへば此の又と得がたい美しい純潔な  
愛情を我からふみにじり、社會の爲とか、公共の  
爲とか、職務の爲とかして、他に出で、注ぎ得べ  
き愛情を捨てらるゝ事のある方々に熟慮して頂き  
たいと存じます。

愛情を捨てるとは怪しからんと仰があるかも知  
れませんが、愛情は捨てるのでなくて一日他に出で  
歸れば人二倍も三倍も愛情を注いで、我が心の満  
足を得るとの仰があるかも知れませぬが、私は斷  
言します、其の離れて居た間の愛情は決して償は  
れ得べきものでないといふ事を。

ア、清く貴い深い愛情を犠牲にして、我が愛子を  
人に預け、且つ傷はれ、社會國家の爲めに盡し、  
として、何の益する所がありませんか、却て事の本  
末輕重を辨せざるの誘りがありましたも辯解の辭

はありますまいかと存じます。  
今更くり返すまでもない、其の子は之を生みし母  
の手に育てらるゝより幸福な事はないのでありま  
す。母も亦生みし程の子ならば、之を其の手で鞠  
育せねばならぬ義務があります。しかるに之を他  
人に譲る、其の義務を放擲するものといはれても  
返す言葉はありませんまひ。私は大に皆様に申し上  
げたいと思ひます。婦人にして職務あるものは、  
母となりし場合に之を放擲すべきであります。而  
して其のいぢらしき赤子の慈母となりて、朝夕之  
が面倒を見られよと、之れ婦人否母の本分を全く  
する所以のものであります。

私は五兒の生まれますまで、之を人手に托して、  
以て自己の職務に従ひました。勿論下女を雇ふ際  
には出來得る限りの手を盡して、子供爲によい  
のを撰びました。されど今日五兒の中で一等品性  
の卑しいのは、一等下女に多く接しました子で、一  
等美しき性情を有するのは、一等我手に鞠育しま  
した子で、其の差の甚しき事、以前職務に従ひし  
時を追想して悔恨の情轉た禁ずる事が出來ませ

二五

ん。私は痛切に感じます、よしや貧窮で人らしき生活の出来得ざるまでも、我が愛子と共に其の辛酸を嘗めて是非善悪の識別し得らるゝまでは、一日たりとも愛子の側を離れまじと。

私か余義なき事情の下に、職務をすて、専ら家庭の主婦となり、五兒の母となりましてから、こゝに一年有半、朝から晩まで、晩から朝まで、子供と寢食を共にして、其の面倒を成一大手に受け、臺所の方を下女に委せて、下女にさへ成丈接せしめぬようつとめてから、心の方は余り目立ちませんが、身體の健康はたしかに増進した事が分ります。無論よく研究して見ますれば、其の心的状態も余程變を來したに違ありません。男子でもですが、女子の朝から晩まで、接する人の眞似をする事は驚くばかり、母は我が子を見てよろしく自己の反省の鏡として、よろしからうと存じます。其のよく眞似る子を下女等に預けて置く事の危険な事は、今更くり返す必要もない明々白々の事で御座います。

# 遊戯的的手工指導法

和田 實

遊戯的的手工は教授課程にあらず。従つて之を幼兒に課するに當りては努めて其不自然なる現出を避けざる可からず。不自然なる現出を避けて滑らかなる進行を見んと欲せば宜しく幼兒の自發活動上に現はるゝ作業的行動の發達段階を仔細に觀察して以て之に適當なる措置を施さんことを要す。

此意味に於て吾人が幼兒を觀察する所に因れば幼兒の作業的構造的興味の發動する第一歩は彼大人の作り與へたる玩具的製作物の鑑賞に始まるものと云はざる可からず。即ち祖父母、乳母、其他の幼兒看護者が最初に手製し與へたる紙人形及び折り鶴が先づ幼兒の鑑賞し玩弄するに適するに因りて茲に製作の興味を刺戟せらるものとす。斯くして刺戟せられたる幼兒の製作の興味は頓がて模倣の本能を驅つて簡易なる模擬的工作となるは當然の順序にして之に因りて其興味は益々擴充せられ其